

結果の要約

1 職業

茨城県の15歳以上就業者数(1,461,560人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が474,454人(15歳以上就業者数の32.5%)と最も多く、次いで「事務従事者」が259,744人(同17.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が184,866人(同12.6%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が11,880人(10.2%)増、「保安職業従事者」が999人(3.9%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が6,220人(18.2%)減、「農林漁業作業」が12,517人(10.3%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が36.1%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が32.3%、「販売・サービス関係職業」が22.6%、「農林漁業関係職業」が7.5%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.9ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ0.8ポイント、0.6ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.7時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.3時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.3時間、「管理的職業従事者」が44.1時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業」が0.4時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.9時間減、「販売従事者」が1.6時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が340,036組(夫婦数754,280組の45.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が236,986組(同31.4%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が45,650組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の13.4%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が32,010組(同9.4%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は282,585世帯(住宅に住む一般世帯1,008,520世帯の28.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は725,935世帯(同72.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が216,939世帯(同21.5%)、「女性のみ」の世帯が146,894世帯(同14.6%)、「幼児と女性のみ」の世帯が60,606世帯(同6.0%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が60,547世帯(同6.0%)となっている。

図1 茨城県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

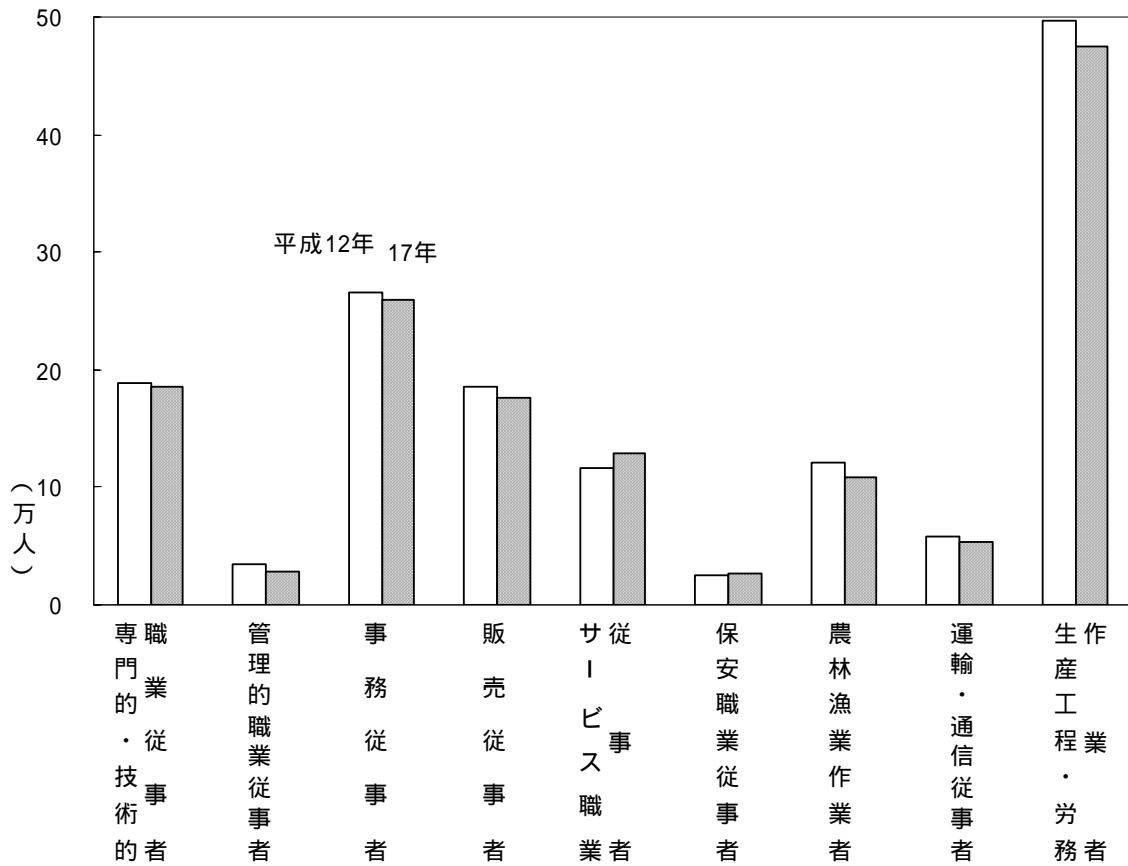


図2 茨城県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

